

平成24年度 第2回

## 帯広市廃棄物減量等推進審議会 議事録

(概要)

日時 平成25年2月14日(木)  
午後4時～  
会場 市役所10階第6会議室

### 出席委員(16名)

一ノ渡 委員  
大松沢 委員  
角田 委員  
工藤 委員  
今野 委員  
齊藤 委員  
末岡 委員  
鈴木 委員  
瀬尾 委員  
惣角 委員  
谷崎 委員  
中川 委員  
福田 委員  
村上 委員  
山崎 委員  
渡邊 委員

(20名中16名出席)

### 帯広市(10名)

嶋崎 市民環境部長  
長江 清掃担当調整監  
中田 業務担当課長  
岡安 清掃事業課長補佐  
一森 指導担当課長補佐  
森田 管理係長  
伊藤 ごみ減量係主査  
菅原 ごみ減量係主任  
生駒 ごみ減量係主任  
西本 ごみ減量係主任

- ・ 嶋崎市民環境部長挨拶
- ・ 渡邊会長挨拶

のあと議事に入る。

## 議事（渡邊会長により進行）

### 1. 平成25年度一般廃棄物処理実施計画（案）について （事務局：資料1により説明）

会 長： 今説明いただきましたが、細かいところで修正が加わっているという感じですね。24年度までやっていたことでやめたものですか、25年度で新たにやることになった部分などありますか。

事務局： 今回、実施計画に直接載っているものではありませんが、昨年、議会の一般質問でもご意見がありまして、住民要望として引っ越し時期の3月4月に直接くりりんセンターに持ち込みたいという人が多いのではないかとという所で、現状、日曜日はくりりんセンターはお休みしているのですが、開けてはどうか、開けられないものかご要望をいただいていたところでした。先般、複合事務組合と、ごみを処理している帯広市を含む9市町村とで色々協議をしまして、今後、どういう体制が必要かそういったものの調査をすることを前提に試験的に3月31日と4月7日、3月に1回、4月に1回、特に引っ越しが多いであろうと思われる日曜日について、試験的に受け入れをしよう。その中で色々データ等を収集しながら今後の日曜日の受け入れについて検討していきたいと考えているところでありまして、これ以外につきましては、24年度と25年度、正直申し上げて大きな違いはないというところでした。

追加ですが、年末の収集について、12月の29日と30日に収集しますということで昨年少しだけお話をさせていただきましたが、ただ、平成24年については29日と30日が土日だったものですから、新しい事業としては始

まっていなくて、実質的には平成25年度から実際に12月29日、30日の収集がスタートします。こちらについては、改めて市民の皆様には周知を図りたいと考えているところでもあります。

委員： 生ごみ処理容器の中で、二人が落ちて亡くなったという事件がありましたね。堆肥化容器の普及というのはここで言えば、3ページの表の中にもありますが、この辺りの問題というのは、先にお婆さんが亡くなり後からお爺さんが落ちて亡くなるというような、その辺のところ、ちょっと心配されるんですね。今後ああいうような同じものであれば非常に危険だという考え方に走るのではないかと。

運動を進めることについては異議はないんですが、危険度の問題もありますので、この辺については相当吟味して取り組んでもらわなければ普及にはならないのではないかと心配しているのですがどうですか。

会長： この間コンポスト容器にお年寄り2人がはまって亡くなったという、そのことですね。帯広市で助成しているものと同じようなものだったんでしょうか。

事務局： ちょっと大がかりな、どこだったかは覚えてないのですが。伊達でしたか。

事務局： 基本的には堆肥化容器だったと思いますが、一般的なものより大型のものなのかという風に記事には出ておりましたね。それと併せて、雪が多いとかいうことで普通以上に穴を掘って深く埋めすぎた部分と、雪で周りが高くなって、結果、地面と同じレベルになっていたこともあって落ちたのかなと思われま。

会長： 各家庭でどういう方法で使われているかということは把握できない訳ですからね。ただ、そういう事件が起きたということからすると、多少の注意喚起はした方がいいのかも知れませんね。雪も何もなければ多くの家では（本体の大部分は）出ているわけですから、大きき的にも小さいですし。

委員： 人が落ちるほど大きいものが普及しているんですか。もっと小さいものが普及しているのだと思っていたのですが。

事務局： 新聞の内容をみますと幅60センチ、深さが120センチ

チですから、市が助成している1300以上の物に該当にはなるんですけども、地上から20センチくらいの高さしか出ていなかったものですから、滑って入ってしまったのか。テレビの映像で見るとすごく大きく見えた感じはしましたけれども。

委員： 帯広市でお勧めしているのはそんな大きくないでしょう。

事務局： 生ごみの堆肥化容器の件に関しましては何れにいたしましても取り扱いの面で、注意を促すような部分というのは考えて行かなければならないと思いますので、次年度また、生ごみ堆肥化容器・電動生ごみ処理機の助成事業を予定しております。その中で、どのような形でお伝えしていくか事務局の方で協議しながら少しでも皆様に安心して使っていただける様にやっていきたいと思っております。

会長： 事務局の方で必要な調査をしていただいて、危険があるようだったら注意喚起をしてもらおうという方向で検討して貰うということではよろしいでしょうか。

委員： 3月と4月に試験的にくりりんセンターを開けるということでしたが、できれば毎月とは言いませんが、開ける方が市民にとっては便利なんじゃないでしょうか。

今、24時間365日いつでもどこで休むか分からないような勤務状態が続いてますでしょう。そうすると、どこかでやれるものならやった方が良くないじゃないでしょうか。

引っ越しはこの時期だけとは限らないです。学生さんはこの時期だけでしょうけど、一般の方はこの時期だけではなくて、上期の引っ越しもあれば下期の引っ越しもありますからね。もしやれるのであれば便利じゃないでしょうか。

事務局： 仰られるとおり、尤もな話で、市役所も1年365日、1日24時間、コンビニエンスストアと同じようにサービスが提供できればそれに越したことはないのは当たり前なんですけど、もう一方で費用の面もございますので、今回先ず、こういった形で市民の方々のニーズを受け止めたら良いのか、又、どのような体制が必要なのか。先ずそれを試験的にやってみる中で、例えばこのような形だと月1回に拡張されるねとか、限定的にやるしかないねとか、その辺りを調査したいと思っているわけですし、先ずは一步踏み出さないと、中々、「お金がかかるからできません」では

進まないのです、そういった面で今回組合の方もご理解いただいて、試験的にやってみようということで協議が整ったというところでございます。その結果を踏まえて、今後の展開につきましては当然検討して行かなければならないという風に思いますので、ご意見等いただいて検証結果を踏まえて今後の対応を決めていきたいと思っております。

会 長： 何しろ、今回は試験営業ということで、その結果に応じではもっと拡大するとか、そういったことになるのかと思います。また、必要に応じてこの審議会でも報告をいただいてみんなで相談していきたいと思っております。

## 2. その他

- ・事務局：清掃事業課予算概要について説明（参考資料）

会 長： 本来であれば年度、毎年の計画であればこの会で予算の概要が報告される所であったものが、今年は特に様々な事情によりまだ決まらないということですね。いま、数字は入っておりませんがこの予算概要については予算が決まった時点でご連絡いただけるということでもよろしく願いいたします。

委 員： よその町に住んでいる方が燃えないごみの日に、食器類を指定ごみ袋ではなく別の袋に入れて「食器」とか「ガラス」とか書いて出すと、収集車の助手席に積んで持って行ってくれるという話を聞いたのですが、帯広市もそうしてくれると燃やさないごみが少しは減るのではないかという気がしたのですが。それをそのあとどう処理しているのかまでは分からないのですが。

会 長： 別の自治体のことですね。帯広市以外の自治体でそういうことが行われているというようなことを把握されていますか。

事務局： いや、聞いたことないですね。

委 員： おばあちゃんが亡くなって食器類がいっぱい残ったんだけど、あまりに沢山（ごみの日に）出したので、持って行ってくれるかどうか心配しながら見ていたら持って行ってくれたと言う知り合いがいてびっくりしたんですが。

会 長： 今、食器とかガラスの類は？  
委 員： 青い袋に入れて出すことになってますね。  
会 長： 燃やさないごみですね。  
委 員： その町までは電話して聞いてはおりませんが、実際に  
そうしているらしいので、何でしたら調べていただければ  
と思います。  
会 長： この種の物の捨て方って悩むところですね。収集して処  
理する側としては燃やさないごみに一緒に入っていること  
については何等問題ないんですよ。  
事務局： 基本的には燃やさないごみです。あくまでもリサイクル  
できるものではないですから。  
委 員： その家だけでなく、他の家でも同じように出してるい  
うことなんですね。  
会 長： みんなその袋に入れて出しているんですか、別々に。  
委 員： それは割れていない物に限ってということなんですかね。  
委 員： ちょっと分かりませんが、でも持って行く時、多少は割  
れるよねとその人は言ってたんですけど、「その後どうし  
てるのそれ」って聞いたらそこまでは分からないという話  
でしたので。ただ、出し方はそういう風に出しているんだ  
よって言っていました。  
会 長： 集めたあとは一緒になってるんですかね。  
委 員： でも、そうしたら分ける必要がないですよ。  
会 長： 仰る気持ちは何となくわかりますね。捨てる方の気持ち  
としては捨て易いですよ。結局行き先は同じなんですよ  
ね。  
委 員： でも、有料でないごみ袋に入れる意味ないですよ、持  
っていくんだったら。  
会 長： 有料ではないんですよ。  
委 員： 有料でない普通のスーパーの袋とかに入れて出している  
という話ですので、変だなあという感じなんですよ。  
会 長： ただで出しているということなんですかね。資源ごみと  
して出ているのでしょうかね。  
委 員： どうなんでしょう、帯広では一度も見たことないですよ。  
委 員： 引っ越したあとの食器だったら割れてないですよ。  
委 員： リサイクルなんてできないでしょう。  
事務局： ごみ収集車が持って行くのか、それとも別な車で持って

行くんですかね。

委員： 同じ車なんだけど大事に掛ける所に掛けたり、助手席に積んで持って行ってくれるらしいんですね。それでも割れるよねって話してたんですが。

会長： そういう話になったのでついでに伺いますが、最終処理というか、行く所は同じなんだけれども収集の部分はどうですか。別の町村では、それぞれその町村でやってるんですか。

事務局： 収集方法については特に定めがある訳ではありませんから、それは別にどのような集め方をされても構いませんが、ごみ処理していく上での処理先はくりりんセンターもしくはサイクルプラザということになりますので、その町でそういう形で取り扱っているのかどうかは確認してみないとお答えできませんので、その辺り確認いたしましてご連絡したいと思います。

委員： 帯広でも同じようにやれば、ガラスとか結構出るから別にするんだったら燃えないごみが減るのかな、何かりサイクルしているのであればと思ったものですから。

会長： 各市町村で、それぞれ歴史もありますでしょうし、事情もあるからどこかでそういう風になって、それが続いているのかも知れないですね。確認できるようにしたら確認してもらいたいと思います。

委員： 特別な（収集）方法ってあるのですか、廃棄物で。たとえば今回2月2日の地震ありましたね。あの時、私の家の場合ガラス類が結構割れました。ガラス類は青い袋に入れて出せるから良かったんですが、状況によってはかなり被害を被った所もあったのではないかと想像がつくんですね。そういった場合の処理について、例えば燃えないものについては全部青い袋に入れて出すのかどうか、こういう辺りが全然追跡も何もないんですね。今回は震度5弱だったんだけれども、今後これで終わりというわけではないですよ。そういった場合の壊れた物の処理とか後始末の方法とかについて、何か規約とか内容のものがあるかどうか先ず聞きたいと思います。

今回、私の家では100袋一つでセトモノ類、壊れた物は間に合ったけど、ある所では、足りなかった人もいるかも

しれないし、それらの処理については（情報が）全く流れてこない。そのあたり、特別な場合の処理方法などあるのかどうかお尋ねしたい。

事務局： 災害時等、市長が認める場合について、いわゆる災害廃棄物と言いますか、そういったものについて無料で収集できるような道は一応用意はしてございます。今回、対策本部設置などを所管する防災担当部署と連絡を取りながら話をし、被害状況については軽微であるということで、特に市として特別な措置は、敢えてとらないということで、こちらから特に市民の皆様方にご案内はなかったというところではあります。もう一方で、大きな被害が出たような場合には、そういったものについてどのように排出してと、そういったものは災害廃棄物として無料で収集しますよとかそういった周知は当然行っていくというふうにご案内しております。実は先週 1 週間どんな感じでごみが出て来るのか色々見ていました。現実的に家庭から出てくる部分についてはあまり差異はありませんでした。平成 5 年の大きな地震があったとき、実は通常の不燃ゴミの 3 倍以上のペースで出たりということもありまして、今回、こういう面では各家庭においては比較的被害の方は軽微だったのかなと。ただ、許可業者が回っている事業系については一部増えている部分があったようです。新聞等にもでておりましたけれども、高層階の飲食店で食器棚の瓶等が全部割れちゃったとか、コンビニでも瓶類が何十本も割れてしまったとか聞きましたけれども、それにつきましても先般の大きな地震に比べると軽微で終わったのかなというところが追跡確認している状況であります。

会 長： 実際に地震とか災害が起きたときに、これは日頃とは違う集め方をしなければいけないという判断になったときには市民に連絡があって、こういう風に出してくださいというようにするという段取りなんですね。今回はそれほどでもなかったということですかね。今の話からするとそういう計画はきちんとできているようですので、大丈夫かなと思います。

委 員： 報告しなければ（被害が）なかったように思われるけれども、私の町内の中でもある家はすごく壊れてしまった家



もあるし、全く壊れない家もあるし、差があるんです。だから一概に言えない。外壁がすっと落ちてしまったとかいう家もあります。そういった中で、今回災害と押しえなかったっていうことになれば、本人が申請しない限りは分からないって話。もうちょっと、壊れた状態などについて追跡調査するくらいのものがあっても然るべきではないかなという感じがしたんです。隣は本当にひどく壊れたという家もありますし、全く壊れないという家と差がありすぎたから今回のような場合は後始末が大変だったと思うんです。だから結局燃えないごみであれば青い袋で出さなければならぬし、お金の問題よりはむしろ心の問題っていうかな。そういったものの場合どうするか、やっぱりどこかに謳っておくべきものでないかって感じがしたんですが。

会長： 中程度の被害だった場合ですね。大地震だったら被害状況も大体同じで情報も多く出てくるから対策もあるからいいんだけど、今仰ったように家によって違う場合、ある家庭にだけ沢山出た場合にでもそれは燃えるごみだから有料なんだよなのかどうかっていうことですよね。それと個別の対応っていうのはあり得るんですかね。難しいと思いますけど。やっぱりどこかで切り分けざるを得なくなりますね。

事務局： お気持ちとしては非常にわかるんですが、なかなか個別の対応をどこまでできるかということについて問われますと、どうお答えできるのか非常に悩むところです。実は私、阪神大震災の時に大阪と京都の間にある高槻市というところに住んでおりました。実は震度4で、今回帯広は震度5弱だったんですけど、その時震度4であったにも拘らず食器棚の中に納まった食器の殆どが滑り落ちて割れました。カシャンカシャンカシャンカシャン割れる音を聞いているとぞっとするものでございまして、おそらく今回の地震の中で市民の方におかれては一部やはりそのような怖い思いもされて、またその後始末も大変だった方もいらっしゃるのかなという風に思います。そういった方々のお気持ちを考えると委員が仰れたとおり、お金の面ということではなく、気持ちの部分として、行政がどう支援の手をさしのべるのかということをお問われてらっしゃるのだなという

風には思いますが、申し訳ありませんが今こうしますとお答えできませんので、そういう部分も今後当然踏まえた対応を検討しなくてはいけないのだろうなというところを今一度とらえまして、今後対応して行きたいと思います。

会 長： 我が家だけものすごく割れてしまったけれどどうしたらいいかという相談くらいには乗ってもらえるということですね電話したら。結局相談した結果、青い袋で出してくださいという結論だとしても、相談にはのっていただけということですね。そういう時、誰に言っていいか分からないですものね。

委 員： 問題は町内ですね。外壁が割れた時、私はずうっと町内を回ったんですが、中には玄関フードも落ちてしまったとかそういうのがいっぱいあるんです。でも、市の方では災害として特別にはみないという。そういうあたり、被害を受けた家もあれば隣はひとつも傷んでいないとか、その差があまりにもあるんです。一件一件点検したわけではありませんが外を見て壁等が落ちた家については大丈夫ですかと確認しました。行政の方でそういう判断をする場合に、訴えなければ何もしないということではまずいと思うんですね。逆にいかがですかというくらいの問い合わせをするような、それがやっぱり優しい行政でないのかなと思うのですが。

会 長： これ、廃棄物処理に限らない問題で、災害の被害状況の把握ということについて、もう少し一件一件どうだったかということをして市の方で見てほしいということですね。

委 員： お酒の組合なんですけど、地震等で被害があった場合、税務署の方で商品に対して減税が受けられるんです。被害状況はって言われても300件以上ある組合員さんに一件一件電話することができないので、これは減税ができますよという案内を税務署の方から出してくださいというお願いをしました。災害があった日から1ヶ月以内にその商品名等をリストアップし、割れたキャップを保管し、或いは写真で撮っておいてくださいという文面で300件くらいの組合員さんに税務署の方から送ってもらったんですが、一件一件被害状況を組合で把握するというのは中々難しいので、新しいお店屋さんも増えてるし、こういう措置

が受けられるというのも分かっていない方もいらっしゃる  
ので、そういうお願いをしまして、全部出してもらいま  
した。

会 長： そういう例もあるということですね。

委 員： 化粧品なんかでもメーカーが何本かみてくれるみたい  
ですね。皆さん今回の時は大分用心されてたから昔のあの時  
の地震のようにビルの上でもぼたぼたとするということ  
があまりなかったようですね。スーパーなどでも同じで、  
あまり大きな被害は受けてなかったようですね。

会 長： 現実的な問題として、個別に考えてみると色々な問題が  
ありますね。

事務局： 私どもの方にもそれぞれの災害見舞金制度ですとかいく  
つかの幅広い制度がございます。そういった中で、適用が  
できるもの、できないもの、色々様態によって違ってくる  
かと思いますが、今のご意見うかがいまして担当部局の方  
にも我々としても今回はこういう形でございますけれども、  
今後こういった事態はあるんだろうといったところで、  
どこで線を引くかというのは色々ご意見があるとは思いま  
すけれども、そういったご意見を真摯に受け止めさせてい  
ただきまして担当部局とともに検討もさせていただきたい  
という風に思っております。

委 員： 話は変わるんですが、前回カラス除けサークルの話をさ  
れていたんですけれども、それがどれ位活用されているの  
か、あと、効果がどれ位あったのかということを追求され  
ていたら教えてほしいです。

会 長： カラス除けサークルについて、その後どれ位活用されて  
いるとか、効果の報告とかあるかってことですね。いか  
がですか。実際の設置状況とか。

事務局： カラス除けサークルですが、前回お話ししたとおり10  
0基限定の中でやってた訳ですが、現在100基、9月何  
日かだったと思いますが、既に設置が終わっております。  
その他にその普及効果と言いますか、1月末の段階で94  
基、同様なものをそれぞれ町内会さんとかで作って貰って  
るような状況にあります。効果等についてはですけども、  
ちょっと古いものになるんですが、7月末から8月にか  
けて、その時はまだ設置している途中だったものだから、

7月末の時点で1ヶ月以上使っている場所ということになりますが、その時点で45カ所、設置している場所がありまして、そこについて使い勝手ですとか効果について調査をしております、大体はうまく使えているというところでご回答いただいている訳なんですけれども、特に飛散が多少まだ残っているという所が45カ所中2カ所ありました。そこについては、ネット自体が古くて穴が空いてたり、または小さかったりというような状況もありまして、その辺の改善をお願いし、飛散等の状況改善を図ってきているというような状況であります。あと、冬期間の使用状況といったようなものも調査していかなければならないということで、今月、来週くらいから冬期間の使用状況、効果等、その辺についての調査を進めて行こうということで、今、準備をしているところです。

会 長： これ、帯広市で100基用意したものの他に設置が94基で、都合194基、200弱程度現状使われているということですね。概して評判は良いということですね。冬のことでもこれから調査をされるということでした。

事務局： 収集する立場の者から聞いた中では、今まで非常に飛散が多かったため収集の手間や時間がかかったんですが、それがなくなることによってスムーズに次から次と収集ができる。また、冬の状況が以前は雪山の上にごみをおいてその上にポンとうまくネットを掛けるとか、そういう所が結構あったんですが、カラス除けサークルを利用されているところはきちっと除雪していただいて、ステーション管理もされていると、その辺もいい効果が表れていると収集担当の方からも聞いております。

会 長： 地域の方が、そのカラス除けサークルを設置するのに伴って、ごみステーションの除雪なんかも進んでいるといういい効果が出ているということですね。うまくいってるみたいですね。

委 員： ということは、収集の時間が遅くなったりしているということをお話されていたんですが、それも早く収集されるようになったということになるのでしょうか。

事務局： いくらかですね。

会 長： 基本的にはいい方向で進んでいる様で安心しました。

事務局： 次回の審議会につきましては、7月中旬以降を考えておりますが、改選時期となりますので委嘱状の交付も予定しております。

(事務局：お礼の言葉)

～ 終了 ～